

保険者事務調査票集計結果

保険者事務調査票の集計結果については、以下の通りでありました。

半数以上の保険者から共同化により効果があると回答された事業について作成しております。

※なお、アンケートの結果、重複回答や一部の項目に回答のないものがあり、各問の間での合計数は一致しておりません。

(参考) 質問項目

- ①共同化することにより効果がある事務と回答のあった保険者数
 ②国保連合会への委託はA、市町村間で独自に行う共同事業はB、その他はCと回答あった保険者数
 ③ 1. 今年度 2. 平成24年度 3. 平成25年度 4. 時期は決めないが共同化した方がいいと思っている事業 5. すでに実施済みのものと回答のあった保険者数

項目	保険者事務	問①	問②A	問②B	問②C	問③1	問③2	問③3	問③4	問③5
		○の保険者数								
・資格管理関係	○被保険者証の発行(作成から発送まで) 国保連合会に委託を希望している保険者が24保険者 ※課題等 ・一斉更新を主に希望している。 ・現状では、転入、転出の即日交付はできない。 ・発送については、直近の資格確認など、市町村ごとの実情に配慮する必要がある。	28	24	4	2			6	23	
	年度に2回の被保険者証更新時の作成・発送。ただし、高齢受給者証と一体化が可能な場合に限る オンラインを除く 更新時のみ共同化可能 一斉更新月(発送も含む) 一斉更新時の委託は効率化につながる 最新の資格管理ができるのであれば共同化でもよいと思う 更新月の大量作成、発送は共同処理をし、日々の窓口申請分については、市町村で発行できるようにしていただきたい 広域連合のような広域化が図られれば。早期の発行が課題 一斉更新月の統一(8月) 被保険者証更新月の大量作成(発送含む) 一括更新時の大量発行のため 被保険者証更新月分(発送含む) 更新時の一括作成 更新時の大量作成及び発送 被保険者情報は国保連へ提出しているが総合システムが対応していないため、広域連合による共同化									
	○資格関連集計処理(入力、データ作成) 国保連合会に委託を希望している保険者が35保険者 ※課題等 ・被保険者情報(所得等)の入力は保険者(市町村)で行う必要がある。	35	35	1				1	10	24
	具体的な項目や内容が不明なため市町村としたが、具体的に示されれば国保連合会も取りうる 集計・統計処理については、広域化に向けて県内統一の基準・条件を定めていくことが必要 市電算が中心(基礎資料) どちらでもよい 共同化に適している									

項目	保険者事務	問①	問②A	問②B	問②C	問③1	問③2	問③3	問③4	問③5
		○の保険者数								
	○国保事業年報月報処理(報告用資料作成) 回答のあった市町村すべてが国保連合会への委託を希望 ※課題等 ・現状では、保険者による最終確認は必須である。	42	42	1		1		1	16	24
		一部は共同処理化されている。診療報酬と突合できるものを希望 不当利得の返還など補正が必要 共同化に適している								
	○保険財政・決算関連処理(報告用資料作成) 回答のあった市町村すべてが国保連合会への委託を希望 ※課題等 ・療養給付費基礎資料の作成にとどまり、所得情報の必要な基盤安定事業の処理はできない。	37	37	1		1		1	12	23
		療養給付のみ(算出基礎資料) 共同化に適している 療養給付費基礎資料								
・給付管理関係	○レセプト管理(累積レセプトのデータ管理) 回答のあった市町村すべてが国保連合会への委託を希望 ※課題等 ・総合システムでは、保険者が管理することになる。	48	48				1	2	8	37
		現在臨時職員4人で資格審査を行っている。共同化に適している								
	○資格点検(被保険者情報とレセプトとの資格照合) 回答のあった市町村すべてが国保連合会への委託を希望 ※課題等 ・現状のシステムでは、審査・支払のために、1月前の資格情報までしか対応できない。	47	47				3	2	10	32
		現在臨時職員4人で資格審査を行っている。共同化に適している								
	○内容点検(レセプト2次点検、縦覧等) 国保連合会への委託希望が多いが、別組織への委託希望もある。 ※課題等 ・連合会は1次審査機関であり、審査にあたっては審査委員会の決定を経ているので、同じ団体が2次点検をすることについて整理が必要である。	43	24	2	17		5	2	15	21
		国保連とは別組織で 現在臨時職員4人で審査を行っている。共同化に適している 業者委託 保険者又は委託機関								
	○医療費通知(療養費含む)の作成 (回答欄中、上段は総合システム稼働前、下段は稼働後の意見) 回答のあった市町村すべてが国保連合会への委託を希望 ※課題等 ・資格喪失者分の通知書も作成されているため、点検して抜き出して送付している。 ・現在は市町村の実情に応じて時期、回数等を決めているところである。	47	47					1	6	40
		13	13					1	5	7
	年間6回通知している。共同化に適している									

項目	保険者事務	問①	問②A	問②B	問②C	問③1	問③2	問③3	問③4	問③5
		○の保険者数								
	○ジェネリック医薬品差額通知の作成 回答のあった市町村すべてが国保連合会への委託を希望 ※課題等 ・総合システム上は様式が決まっており、任意の変更は困難である。	48	47			22	10	2	13	
		平成23年度は年1回								
	○高額療養費算定システムの共通化(対象レセプトの検出) 回答のあった市町村の大部分が国保連合会への委託を希望 ※課題等 ・資格喪失者分の通知書も作成されているため、保険者で点検の上除外している。	44	42	1			2	2	14	26
		共同化に適している								
	○高額療養費勸奨通知の作成 回答のあった市町村の大部分が国保連合会への委託を希望 ※課題等 ・高額療養費の決定は保険者で行うため、現状は、保険者独自で委託している。	43	42	1			3	2	14	24
		共同化に適している								
		調剤合算や特定疾病等に対応できれば								
	○高額介護合算療養費の計算と勸奨通知作成 回答のあった市町村すべてが国保連合会への委託を希望 ※課題等 ・高額療養費の決定は保険者で行うため、現状は、保険者独自で委託している。	44	44					2	14	28
		郵送を含む共同化を進める								
	○療養費の支払処理(柔整分) 回答のあった市町村すべてが国保連合会への委託を希望 ※課題等 ・現物給付の請求分が連合会で実施されている。 ・償還払い分については市町村窓口による対応である。	45	45					2	10	33
		現物支給については、共同化し、償還払いについては、保険者事務として窓口対応することから、共同化に適していない								
	○第三者行為求償処理 回答のあった市町村すべてが国保連合会への委託を希望 ※課題等 ・自動車事故による案件分が連合会で処理されている。 ・自動車事故以外は市町村窓口による対応である。	44	44				1	1	5	39
		既に委託しているため、共同化に適している								

項目	保険者事務	問①	問②A	問②B	問②C	問③1	問③2	問③3	問③4	問③5
		○の保険者数								
・特定健診・保健指導関係	○健診結果、保健指導状況等データ管理 回答のあった市町村の大部分が国保連合会への委託を希望 ※課題等 ・健診結果データの共有化については、第2フェーズにシステム化する予定 ・連合会に支払とデータ管理を委託している団体が20団体程度 連合会にデータ管理のみ委託している団体が20団体程度 連合会を経由せずに独自でおこなっている2団体 ・受診率の向上に向けて健診の追加項目や健康管理のためのがん検診を併せておこなっているところがある。さらに自己負担の扱いについても調整する必要がある。	43	41	2			2	2	33	7
		市内の医療機関に限定されているため、広域化として発行管理となれば、県内医療機関とするなど、限定を解除する必要がある								
		受診券番号の管理								
		独自システムのため、直には無理								
		業務自体の共同化が前提 関係部署との調整が必要 健診実施時期が異なるため 国保連を支払代行機関として決済を行う中で、記載の事務は一定の共同化が図られている								
	○統計処理 回答のあった市町村の大部分が国保連合会への委託を希望 ※課題等 ・健診結果データの共有化については、第2フェーズにシステム化する予定	46	44	1	1		2	2	37	6
	千葉県健康づくり支援課が統計データを公表しているが、今後、医療費と結果データとの比較分析等を、県と連合会が共同で行うことにより、より有益な統計情報となると思われる									
	共同化に適している									
	発行管理を共同化できれば、この項目も共同化できる									
	検診項目ごとの県下市町村順位一覧表									
	○広報活動事業 回答のあった市町村の大部分が国保連合会への委託を希望 ※課題等 ・連合会でラジオCMを実施(6月～7月)	42	38	1	3	1	1	3	14	23
	共同化に適している。									
	県・連合会主体で実施してほしい									
	県・国保連・市町村で実施									
	千葉県、連合会、市町村でパンフレット等作成									
	○保健事業推進担当者への研修会実施 回答のあった市町村の大部分が国保連合会への委託を希望 ※課題等 ・研修内容について、充実や拡大を求めている。	45	44		2	2	1	2	12	30
	県・連合会の共同開催で、非常勤職員及び委託業者等も含めた、実践的な研修会が必要である									
	千葉県・連合会で開催									
	県の研修は中核市を対象外としているが、研修対象者の人数が少なく、独自の研修会を開催するのは効率的ではないため、全市町村を対象としていただきたい									
	○被保険者の健康管理(保健指導)のためのデータ収集及び分析 (回答欄中、上段は総合システム稼働前、下段は稼働後の意見) 回答のあった市町村の大部分が国保連合会への委託を希望 ※課題等 ・保健指導は市町村ごとの手法で行われるため、データは市町村単位で管理をしている。	38	38	1		1	2	3	9	25
		40	41	1			2	3	36	1
	千葉県在宅看護職等の会等に委託(重複頻回受診者に対する訪問指導の応援)									
	保健指導に有効なデータ収集及び分析を考慮する必要がある									

項目	保険者事務	問①	問②A	問②B	問②C	問③1	問③2	問③3	問③4	問③5	
		○の保険者数									
	○疾病分類統計等を活用した保健事業 (回答欄中、上段は総合システム稼働前、下段は稼働後の意見) 回答のあった市町村の大部分が国保連合会への委託を希望 ※課題等 ・現状は主病名のみでの統計管理がされている。 ・総合システムでは、電子請求されたレセプトについては主病以外のコードも出力されるようにシステム改修が行われている。	37	36	3		1	2	2	10	22	
		41	41	2			2	3	37		
		主病名のみでの統計でなく、疾病構造を踏まえた分析が必要と考える									
・収納率向上対策	○収納担当職員への研修会実施 回答のあった市町村の多くが県・国保連合会での実施を希望 ※課題等 ・研修は収納事務初任者研修会(県)、国保保険料(税)収納実務研修会(県、国保連合会)2回が開催されている。 ・収納目標率達成に向けた研修の充実を求めている。	39	7	3	31		3	7	28	1	
		県または県・連合会の共催により実施済									
		県が主体となり、市町村間で調整									
		千葉県・連合会で開催									
		千葉県にて開催									
	○広報、キャンペーン 回答のあった市町村の多くが県・国保連合会・市町村の一体的な実施を希望 ※課題等 ・ベイFMでの放送、リーフレットの作成・配布(県) ・啓発ポスター、物品の配布、機関誌、ホームページに掲載(県、連合会) ・テレビCMの放送(連合会)	43	11	3	30	2	2		13	26	
		県・連合会・市が一体となって取り組む									
		千葉県・連合会で開催									
		県が主体となり、市町村間で調整									
		千葉県・連合会で開催									
		県・連合会・市町村で実施(共催)									
		各団体共催									
		千葉県・市町村・連合会共催									